

図書館 NEWS 5月号



開館スケジュール
月～金 8:30～17:30
土 8:30～14:30
日・祝日 休館

早稲田大阪学園
図書館発行 No.107
2024.5.1



INFORMATION



雑誌・雑誌付録・英字新聞バックナンバー お持ち帰り会 (1人1日1点厳守) 5/7(火) 9:30 スタート! なくなり次第終了



雑誌：ナンバー 日経エンタテインメント ダ・ヴィンチ他多数!!

雑誌複数購入済み! リクエストも受付中!

新書大賞 2024 年度の本、入荷!

「新書大賞」は、1年間に刊行された全ての新書から、その年「最高の一冊」を選ぶ賞です。1位～10位受賞本を購入! 「新書ノススメコーナー」に設置!



- 大賞 「言語の本質」 今井むつみ・秋田喜美(著)/中公新書
- 2 「訂正する力」 東浩紀(著)/朝日新書
- 3 「客観性の落とし穴」 村上靖彦(著)/ちくまプリマー新書 過去の受賞作品もチェックしてみてね!



お持ちの電子端末から 所蔵本の検索ができます!!

下記のQRコードにアクセスしてください。



- ① 「Egg Web サービスへようこそ」 OPAC 「本を検索する」をクリック (スマホはダブルクリック)
- ② 「ログイン」 ユーザーID「 」 パスワード「 」
- ③ 「検索」 キーワードを入力、「検索」をクリック



今の特集

「生き物たちの世界を覗く」

もう、すっかり初夏ですね! ここ彩都は自然に恵まれた地域で、様々な**生き物**を見かける機会があると思います。

生き物たちの世界を見てみませんか?



～身近な生き物たち～

●身近な昆虫、アリ。その世界は人間よりも集団行動かも!?

『アリ語で寝言を言いました』

村上 貴弘(著)/扶桑社新書

●蚊の主食は血ではない? さされにくい服の色がある? 目からウロコの話!

『あなたは嫌いかもしれないけど、とってもおもしろい蚊の話』

三條場 千寿・比嘉 由紀子・

沢辺 京子(共著)/山と溪谷社

●人から学ぶな、虫から学べ。昆虫に生き方を学ぶ啓発書!

『もしも虫と話せたら』

ペズル(文)、じゅえき太郎(絵)、

須田 研司(監修)/プレジデント社

●毒ヘビを見分けられますか?

『両生類・爬虫類のふしぎ』

星野 一三雄(著)/サイエンス・アイ新書

●身近な淡水魚、どれくらい知ってる?

『日本の淡水魚』

細谷 和海(編・監修)、内山 りゅう(写真)

藤田 朝彦(他解説)/山と溪谷社

●植物にも血液型がある!?

『面白くて眠れなくなる植物学』

稲垣 栄洋(著)/PHP エディターズ・グループ

●タンポポの1粒のタネが、半年で100万個のタネになる!?

『タネのふしぎ』

田中 修(著)/サイエンス・アイ新書

●身近な存在になりつつある、クマ。もし出会ってしまったら?

『人を襲うクマ』

羽根田 治(著)/ヤマケイ文庫



●水道の栓を回し、しかも目的によって量を調節できる…。こんなカラス、身近にいますか?

『ニュースなカラス、観察奮闘記』

樋口 広芳(著)/文一総合出版

●あっと驚く動物の生きる知恵を、綺麗な写真とともに記載!

『それでも美しい動物たち』

福田 幸広(著)/サイエンス・アイ新書

●生き残るための戦略と習慣を、動物たちから漫画で学べる!

『LIFE』

麻生 羽呂・篠原 かをり(著)/文響社

●生命の“最後の輝き”を描く哀切と感動の物語。

『生き物の死にざま』

稲垣 栄洋(著)/草思社

～図鑑で調べてみよう!～

●街中や野山で見かける昆虫1166種を紹介!

『昆虫の図鑑』

福田 晴夫・山下 秋厚・

福田 輝彦(共著)ほか/南方新社

●注目されるようになってきた昆虫食。その味や食感は!?

『食べられる虫ハンドブック』

内山 昭一(監修)、21世紀の食調査班(編)/自由国民社

●ひとつひとつが美しすぎる!

『美しき小さな雑草の花図鑑』

大作 晃一(写真)、多田多恵子(文)/山と溪谷社

●うぐいすは次々と再婚するなど、エツと驚くネタもたくさん!

『身近な野鳥の観察図鑑』

高野 丈(著・写真)、樋口 広芳(監修)/ナツメ社

●世界中の綺麗なネコたちにうっとり!

『家のネコと野生のネコ』

澤井 聖一(本文・写真解説)、近藤 雄生(野生のネコ本文)/エクスナレッジ



●どのように作り、展示されるの?

『標本バカ』

川田 伸一郎(著)、浅野 文彦(イラスト)/ブックマン社

●人体で表す動物図鑑って!?

『カメの甲羅はあばら骨』

川崎 悟司(著)/SB ビジュアル新書

～生き物との共存とは?～

●フェレットやシマリスは背中をつまむ! 生き物を傷つけない持ち方とは!?

『その道のプロに聞く生きものの持ちかた』

松橋 利光(著)/大和書房

●こんな綺麗なメダカ、見たことある!?

『はじめてのアクアリウム』

佐々木 浩之(著)/コスミック出版

●ビオトープという言葉を知っていますか?

『自宅で湿地帯ビオトープ!』

中島 淳(著)、大童 澄瞳(画)/大和書房

●農薬が水中の食物連鎖を破壊した結果…。

『魚はなぜ減った? 見えない真犯人を追う』

山室 真澄(著)/つり人社

●その生き物、採っても大丈夫?

『いきもの六法』

中島 慶二・益子 知樹(監修)、山と溪谷社

いきもの部(編)/山と溪谷社

●生態学者から学ぶ、動物の本当の姿とは?

『私たちが暮らしは、どう変わったのか?』

『都市の暮らしと野生動物の未来』

高槻 成紀(著)/岩波ジュニア新書

●野生動物をどうするべきかではなく人間がどうするべきか!?

『農作物を守る鳥獣害対策』

江口 祐輔(編著)/誠文堂新光社

●“SNS 社会が動物を殺す”!?

『動物たちの悲鳴が聞こえる』

杉本 彩(著)/ワニブックス|PLUS|新書

●犬を救ってるようで、実は私たちが救われていた。

『感動のノンフィクション!』

『妻が余命宣告されたとき、僕は保護犬を飼うことにした』

小林 孝延(著)/風鳴舎

